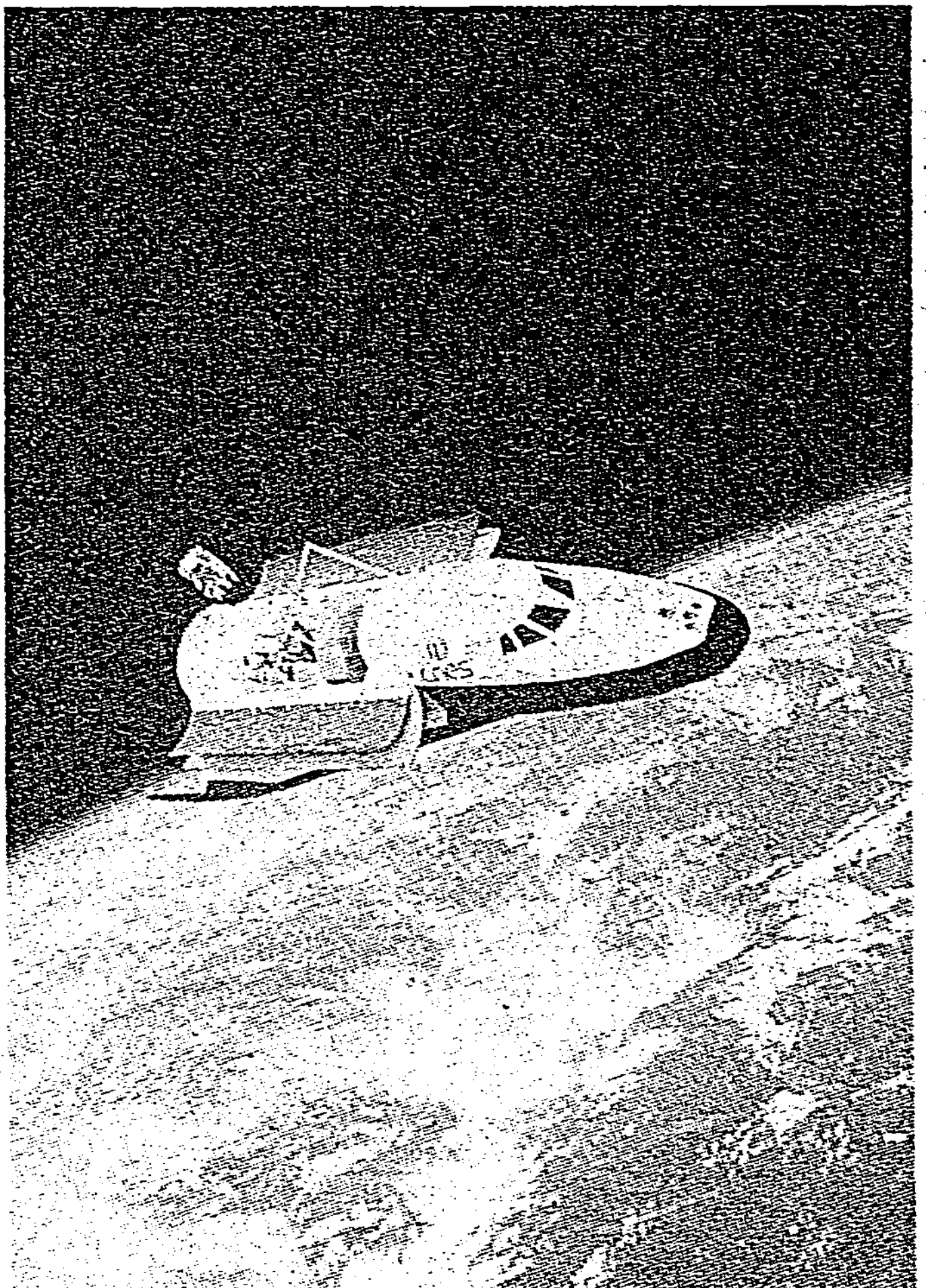


十勝毎日新聞

発行所
十勝毎日新聞社
〒080 帯広市東1条南8丁目
電話=編集②2121、広告
③2323、総務・販売④2222
©十勝毎日新聞社 1987

欧州の宇宙開発

<1>



欧州の長期三大計画に正式決定した「ヘルメス」

宇宙開発における米国の巨大勢力への依存から脱しようと、ESA(欧州宇宙機関)を中心に、多国籍の協力体制で自立した宇宙活動の確立を目指すヨーロッパ。その現状とこれからを探る道航空宇宙産業基地研究会の欧州宇宙開発動向視察団(団長・松本正司、副団長・西田、イギリスの三カ国を視察した。ESAの主導的役割を担う三カ国で、今、何が行われているのか。大樹町を中心とする南十勝でのスペースポート(宇宙港)実現に向けて、以下、現地の実情を本社年間キャンペーン「目指せ宇宙基地」の第六編として順次紹介する。(金谷 信記者)

ヘルメスとHOTOL競合

パリ東部のマリオ・ニキス通り、すくなくにはエッフェル塔が見えるESA本部。職員約三百五十人。横長の四階建てのビルで、ヨーロッパ宇宙開

争相手になるようなコンセンサスを得ない。むしろ、その編として考案されていると語っていた。

「英孤立の構図」
FVLR(ドイツ航空宇宙研究所の研究員)クルーバー氏はヘルメスへの参加を将来的にメーガー実施が可能になると強調した。

「宇宙開発に夢と威信をかけるのがフランス。西ドイツはコスト優先、イギリスはもっと現実的で厳しい国家財政を背景にかなり慎重だ。宇宙開発に対する根本的な考え方の違いが、今回の理事会で現れたのではないかと解説したのは松本座長。いわば協力と競争の共存。共同体な面ではESAの、複雑な断面を

競争と協力

三大計画に英不参加

「ヨーロッパの新たな宇宙時代始動」。パリに入ってから三日の十一日朝、ル・モンドなどのフランス国内の各紙はそろそろ報じた。九、十の八年にアリアン5型で第一回有人フライト予定、そして欧州のESAの關係レベル理事會で、次期の大型衛星打ち上げ用ロケット「アリアン5」の三大計画が、西暦二〇〇〇年までのヨーロッパの長期宇宙開発として正式に決定され、年々静かな軌道打ち上げ

「HOTOL」はヘルメスの競合する。この計画に、イギリスが参加しない(研究開発費の出資ゼロ)というのだ。なるほど、存在がなかったためだ。イギリスはHOTOLをESAでは、国際海外担当事業部長のシヤール・ブロンド氏が、既に団員の大半が理事会の行方に興味を示

「HOTOL」はヘルメスの競合する。この計画に、イギリスが参加しない(研究開発費の出資ゼロ)というのだ。なるほど、存在がなかったためだ。イギリスはHOTOLをESAでは、国際海外担当事業部長のシヤール・ブロンド氏が、既に団員の大半が理事会の行方に興味を示



ESA本部で概要を聞く視察団

年間キャンペーン「目指せ宇宙基地」第6部